

学校経営推進費 評価報告書（最終）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立花園高等学校 全日制の課程
取り組む課題	生徒の希望する進路の実現
評価指標	①「決定した進路への満足度」47.5%（平成28年度）を3年後80%に ②国公立大学と難関私大合格者数 合計62名（平成28年度）を3年後合計100名以上に ③卒業時のアンケート「探究学習を通じて成長できた」肯定率80%
計画名	未来を拓く・世界とつながる HANAZONO 探究プロジェクト

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	1 英語教育、国際理解教育の一層の充実 (1) 国際教養科の取組みを発展させ、両学科ともに英語教育の充実をはかる。 ウ 各種の行事を英語学習の動機づけに活用すると共に、英語を発信する機会を増やし、その力を強化する。 (2) 様々な国際理解教育の機会づくり ア 幼小中・他校との連携を視野に入れた英語・国際理解関連行事の推進 2 すべての生徒の進路希望実現とキャリア形成支援 (2) キャリア形成の段階的支援 イ 花園キャリアプランに基づき、すべての教育活動を通じて、考える力・発信する力・協同する力を育み、最後までやり抜く力を身に着けさせる。 ウ 探求的な活動を通じて、未知なるものに果敢に挑戦し、意見の交換・調整を通して仲間とともに課題を解決する力をつけ、自尊感情を高め、予測不能な21世紀社会を生き抜く力を育む。
事業目標	授業や学力向上の取組み（講習・学力考査等）に加えて、学校・地域・外部機関と連携した取組みを探求的な学習やフィールドワークも含めた様々な形態で行うことにより、学習への動機づけを行い、自らの進路を切り拓く力をつけ、希望する進路の実現を可能にする。 また「総合的な探究の時間」への準備段階と位置づけ、「探求」から「探究」への深化をめざした教職員の指導力向上もねらいとする。（めざす学校像「生徒も教職員も生き生きと学び続ける学校」を实践）
整備した 設備・物品	ビデオカメラおよび周辺機器、iPad50台、模造紙、付箋
取組みの 主担・実施者	・主担：ビジョンチーム（首席・進路指導部長・各学年進路・教務） *ビジョン：総合的な探究の時間 ・実施者：全教職員 ・連携先：大阪市立大学、大阪経済大学、大阪夕陽丘学園短期大学、NPO法人COCOルーム、東大阪市役所、NPO法人very50、NPO法人東大阪子育て支援コロボックル、NGOフェアトレード・サマサマ、NPO法人緑の地域ネットワーク、朝日新聞社

<p>本年度の 取組内容</p>	<p>① 1年「企業探究」17時間、2年「SDGs 沖縄やオーストラリアの課題」12時間を「総合的な探究の時間」、3年「社会の課題」8時間を「総合的な学習の時間」を使って取り組んだ。校内発表会（1年はパワーポイント、2年は模造紙を使ってポスターセッションを学年単位で体育館にて実施、3年はクラス内で発表）1年は全国大会に出場し、佳作入選。模造紙・付箋・iPadを使い、グループで調べ、検討し、アイデアを出し合う。</p> <p>② 「HANAZONO 進路探究プログラム」6月・11月に実施。参加生徒のべ425名。新たなNPO、NGOとの連携を行う。ラグビーW杯応援プロジェクトは、東大阪市役所と連携し、クリーンアップに参加。また地元の花園本町商店街と協力して商店街に人を呼び込むアイデアを出し、顔出しパネル作成、ラグビーにちなんだメニューの考案、商店街に飾るタペストリーのデザイン等に取り組んだ。開催時には、商店街での催しに参加。また、新たにSDGsを探究の柱に据え、朝日新聞書のSDGs教室や大阪経済大学との連携による街づくりについての学生との活動など、次につながる取組みができた。</p> <p>③ 小論文・面接講座（計2回実施）AO・推薦で四年制私立大学等に3名合格</p>
<p>成果の検証方法 と評価指標</p>	<p>① 生徒アンケート 3年生「進路決定に役立った」肯定率80% 「決定した進路への満足度」80%</p> <p>② 国公立大学と難関私立大学の合格者数計100名以上</p> <p>③ 「HANAZONO 進路探究プログラム」参加生徒数80名以上 生徒アンケート「参加して役だった」肯定率80%</p> <p>④ 生徒アンケート「探究学習を通じて成長できた」肯定率80%</p> <p>⑤ プレゼンテーション・ポスターセッション等発表会や研修会を他校と合同で実施</p>
<p>自己評価</p>	<p>① 生徒アンケート 3年生「進路決定に役立った」肯定率88% (○) 「決定した進路への満足度」72% (△)</p> <p>② 国公立大学と難関私立大学の合格者総計22名 …………… (△)</p> <p>③ 「HANAZONO 進路探究プログラム」参加生徒数425名 (◎) 「参加して役だった」肯定率88% …… (○)</p> <p>④ 生徒アンケート「探究学習を通じて成長できた」肯定率93.5% …………… (◎)</p> <p>⑤ 実施できた (SDGsを絡めた新たな探究の3年間の計画が完成) …………… (◎)</p>
<p>事業のまとめ</p>	<p>3年間の取組みを通じて、一番のねらいは、これまで学校行事にはものすごいパワーを発揮するが、学習や自分の将来を描くことには消極的で、漠然と3年生を迎える生徒が多い本校で、学校行事に夢中になるのと同様の熱量で、探究に取り組むことによって自分の将来につながるものを見つけ、自分で自らの進路を切り開くことができる生徒を育てたいということであった。予想以上に生徒たちの反応はよく、授業とはちがう、学校の教職員とはちがう様々な所属の、様々な大人と出会うことで、視野を広げることができたようだ。そして、取組みを通じて、興味をもったことから、学部・学科を選び、進学する生徒も出てきた。残念ながら私立大学の定員厳格化の影響もあって、安定志向の傾向になったことで、目標の進路実績は達成できなかったが、生徒の進路に対する意識がこの3年間で大きく変わったといえる。</p> <p>1年め・2年めの取組みが、3年めでSDGsを絡めたことで、より生徒に伝わりやすくなり、自分ごととして物事をとらえるきっかけともなった。この3年間の取組みを基に、新たに計画した3年間の探究の取組みが次年度から始まる。その中で、よりいっそう、深く考える、視野を広げる、当事者意識を持って社会と関わる、仲間と協働して課題を解決するなどの様々な力を育み、自らの進路を切り開く力をさらに強力にする土台ができたことが本校にとって、次につながるかけがえのない大きな成果であった。</p>